

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境清掃部一般管理				整理番号	659		枝番号			
担当部課		環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	680	
係名 庶務係				上位施策名				No				
予算事業名 環境清掃部一般管理				コード	65100		環境施策の枠組みづくり				16	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成			5年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			(1) 杉並区組織条例 (2) 杉並区職員の旅費に関する条例 (3) 職員標準事務取扱要綱								
	環境清掃部職員			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 環境清掃事業の円滑な運営								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ・職務上必要な出張時の旅費等の費用弁償 ・業務上必要な事務用品類の購入及び事務機の保守等 ・部内各課の連絡調整											
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 環境清掃部職員数			(1) 予算執行率									
(2)			(2)									
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	人	396	380	362	362	354					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	61.30	47.80	100.00	64.00	100.00					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,588	2,143	4,000	2,561	4,154	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費	千円	63		88	88	147					
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	13,625	13,491	13,650	13,650		13,650			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 + +	千円	16,213	15,634	17,650	16,211	17,804					
	単位あたりコスト ÷	円	40,942	41,142	48,757	44,782	50,294					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0		0			
差引:一般財源 -		千円	16,213	15,634	17,650	16,211	17,804					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	64.0	需用費が減少し、実績が見積もりに対して少なかった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ISOの環境マネジメントシステムによる、紙の使用ルールが認識されつつあり、再生紙購入の需要が削減された。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度に清掃事業が移管され、組織改正により職員数が大幅に増加したため予算額(旅費)も増額することが見込まれた。平成14年度からは、用品基金の廃止に伴い再生紙を部で一括購入することとなったため、予算額(需用費)が増加した。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	全職員にパソコンが設置され、情報伝達及び提出書類のペーパーレス化が推進されるが、一方で情報量が増加し、電子複写機(印刷機)への機能依存が高まる。17年度には会計システムが一新され、この影響がいかなるものか予測困難である。18年度の清掃事業完全移管に伴い、職員数が増え部内調整事務の増加が予定される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 環境清掃部の業務を円滑に遂行していくために必要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 伝達系の会議はメールの活用等により縮減し、旅費の減額を図る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 職務遂行のための経理であるため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容: 事務用品の一括購入。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 職員の個人情報に関する扱いがある。また、職員の連絡調整に部外者が携わるのは望ましくない。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 伝達系の会議はメールの活用等により、縮減を図るとともに、電子複写機の使用については情報量の増大とあいまって使用料の増加が見込まれるため、ISOの環境マネジメントシステムによる使用ルールを遵守する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民等の情報公開制度に直結する可能性のある文章については、用紙の裏面再利用が極力できない。それ以外の用紙については裏面再利用を徹底する。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 パソコンを活用した情報伝達が定着され、文書管理システムの稼働によりペーパーレス化が推進されるものの、多様化する会議の資料等については紙の削減は難しい。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境博覧会開催				整理番号	660		枝番号			
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先電話番号	3715		昨年度整理番号	681		
係名				環境都市推進担当				上位施策名		No		
予算事業名				環境先進都市の創造		コード	65500		環境施策の枠組みづくり		16	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 「杉並区21世紀ビジョン」推進プラン (2) 環境基本計画 (3)					
	全ての区民、団体、企業								事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				高井戸地域区民センターを主な会場として、毎年10月開催を基本に、区民、関係団体、企業、行政が協働して環境についての理解を深め、日常生活や活動に結びつくような多彩な企画内容からなる環境配慮行動啓発イベントを開催する。				環境配慮行動の必要性、重要性を理解し、実際に行動する。			
活動指標名(式)								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
(1) 博覧会来場者数								(1) 博覧会来場者率(来場者 / 区人口)				
(2) 出展・協力団体数								(2) (代) 出展・協力団体数				
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		人	16,119	16,500	20,000	15,818	20,000	20,000	79.1		
	活動指標(2)		団体	120	133	100	134	130				
	成果指標(1)		%	3.09	3.15	3.81	3.01	3.81	3.81	79.0		
	成果指標(2)		団体	120	133	100	134	130				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	19,234	9,845	10,000	9,989	10,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 区人口 平成15年度524,278人 平成16年度524,877人 (各年10月1日現在、外国人登録者を含む)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.80	3.23	3.20	3.12	3.10				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	25,432	29,051	29,120	28,392	28,210				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	44,666	38,896	39,120	38,381	38,210				
	単位あたりコスト ÷		円	2,771	2,357	1,956	2,426	1,911				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	44,666	38,896	39,120	38,381	38,210					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	79.1	活動指標(2)の16年度達成率%	134.0	16年度予算執行率%	99.9	出展企画の経費は企業、団体の協力によって負担してもらうなど、経費面についても役割分担による協働を進めている。				
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		博覧会の企画・運営をより区民・民間団体主導のものへとするため、作業部会における議事進行役を区職員から区民へと移行した。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度から開催を始め、平成14年度は杉並環境フェア2003、第8回リサイクル・アイデア作品展とも共催し、国際環境フォーラムを中心に開催した。平成15年度より区民・団体・企業との協働をさらに進め、企画立案段階から多数の区民等に参画していただき、博覧会を運営した。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	企画・内容・規模とも大変充実したものであるとの評価を、来場者、参加・協力団体より頂いている。一方イベント事業に対して、経費削減せよとの意見も若干ある。
	今後の予測	さらに環境に対する区民の関心、意識が高まっていくことが予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:環境配慮理念の共有化や協働意識の醸成を推進する事業であり、「環境先進都市すぎなみ」の創造のため、大きく貢献するものである。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:出展・企画内容がより多くの来場者が見込める興味あるものであるか、さらに来場者がより環境配慮行動の必要性を感じと取れるものであるかを精査・吟味する。また区内地域ごとの環境配慮の取り組み状況などを発表展示するなど、地域からの盛り上げを促していく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:参加している企業等からは設営に係る経費を出展料として徴収している。さらに参加各団体のそれぞれの展示物等の政策経費は各団体の負担であり、すでに相応分の負担も行われている。また環境博覧会は、来場者から入場料を徴収する性格のイベントではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容:参加企業・団体等から協賛金をさらに積極的に募り、区の支出経費を下げる余地はある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:NPO・ボランティア・企業・行政による実行委員会方式で、博覧会を企画段階より運営している。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 博覧会全体のコーディネートについても行政から民間に移行できるよう、核となる事業所・団体・NPOを発掘する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成18年度からは、区民・民間団体で構成される実行委員会を、実質的に区民主導で博覧会の企画・運営ができるよう進める。また、会場の変更、規模・内容の見直しなども検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 主体的に博覧会を運営できる中心的な団体の発掘が困難である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境保全対策の推進				整理番号	661		枝番号			
担当部課		環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	682	
係名 庶務係				上位施策名				No				
予算事業名 環境保全の推進				コード 65900				環境施策の枠組みづくり				16
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 45 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区環境基本条例 (2) 杉並区環境基本計画 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 環境施策の報告と問題提起としての環境白書の発行。 環境保全意識の普及啓発の手段としての環境パネル展。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 環境問題への意識啓発及び高揚。							
	活動指標名(式) (1) 環境白書(資料編)の発行部数 (2) パネル展開催回数、パネル貸出回数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)							
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度		目標値	目標値に対する16年度の達成率%
							計画	実績	計画		19年度	
指標	活動指標(1)		部	800	800	800	800	1,000				
	活動指標(2)		回	2	0	2	3	3				
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,286	1,947	739	565	2,132		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	1,911	1,000	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,083	8,994	9,100	9,100	9,100				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	13,369	10,941	9,839	9,665	11,232				
	単位あたりコスト ÷		円	16,711	13,676	12,299	12,081	11,232				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	13,369	10,941	9,839	9,665	11,232					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	150.0	16年度予算執行率%		76.5	パネル展については、平成16年10月の「環境博覧会」、17年1月の本庁舎ロビー、同2月に産業商工会館にて「ポスト環博」を開催した際に環境に関するパネル展示を開催した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		パネル等による情報提供は、多方面の区民に環境問題の理解と行動の動機付けの役割を果たすため、予定より開催回数を増やし、より多くの区民の目に触れるよう考慮した。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	環境・公害に対する区民の意識は時代の変化とともに大きく変わり、身近な環境問題から地球規模の環境問題にまで至っているため、啓発内容を時代の変化に合わせて変えてきた。 また、社会情勢の変化に対応するため、平成14年度には環境基本計画の改定を行った。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	環境講座等により幅広い啓発活動や、区民の環境問題学習の場が求められている。 また、平成11年度で中止したホタルの繁殖事業については、復活要望が強い。
	今後の予測	環境の世紀にふさわしく、区民・事業者・行政に一層の環境配慮行動が求められている。また、自然生態系の復元に対する要望が強まると考えられる。すぎなみ環境情報館を活動拠点とした環境ライブラリーの運営や、環境活動の充実等環境基本計画の達成に向けた動きが大きくなっていくであろうと予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 環境白書は環境に関するデータを多く掲載しているため、さまざまな場面で利用されている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 環境白書については、配布先を見直すことで、より多くの区民の目に触れるようにすることができる。また、パネル展をより多く開催することで、区民の環境に対する意識の向上が期待できる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 環境白書は環境基本計画の進捗状況を区民に報告するものでもあり、現時点では無料配布が望ましいと考える。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: 環境白書の作成については、内容が環境データの推移を資料として多く掲載しているものであるため、電子データを活用した印刷方法等の変更により作成に係るコストの削減が考えられる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 区として所有している環境に関する情報(データを含む)を周知するためであるので、啓発の実施者は区となる。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改定した環境基本計画の達成に向けて、進捗状況等を区民が理解できる報告書について検討して行く。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 多くの区民の目に触れることのできるパネル展示や、区の事業の報告である環境白書の発行を継続して実施していくことで、区民の環境に関する意識の向上が期待できる。また、予算面では現行規模での開催回数の増を検討し、より多くの区民の目に触れることができるよう検討していく。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すぎなみ環境ライブラリー				整理番号	665		枝番号					
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230108		連絡先電話番号	3709		昨年度整理番号	686			
係名				公害対策係				上位施策名			No			
予算事業名				環境保全の推進				コード	65900		環境施策の枠組みづくり		16	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		15年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 大気汚染防止法 (2) 悪臭防止法 (3) 東京都環境確保条例							
	環境調査結果、化学物質などの環境情報を広く提供するため、環境ライブラリーを維持管理する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
化学物質に関するものを中心に、その他身近な環境問題に関する情報を集め提供している。平成16年度からは環境情報館事業の1つとして実施しており、単独の環境ライブラリー事業は平成16年度をもって廃止した。				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 化学物質データベース更新回数				(1)										
(2)				(2)										
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%						
				計画	実績									
指標	活動指標(1)			3	3	3	-							
	活動指標(2)													
	成果指標(1)													
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円		2,331	2,310	2,310	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年度から事業予算なし						
	(内)委託費		千円		2,310	2,310	2,310							
	職員数(常勤 非常勤)		人		3.00	0.30	0.30							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	26,982	2,730	2,730		0					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0					
	総事業費 ++		千円	0	29,313	5,040	5,040		0					
	単位あたりコスト ÷		円		9,771,000	1,680,000	1,680,000							
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	29,313	5,040	5,040	0							
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0								
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	100.0						
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)														

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初から、平成16年度開設の環境情報館の事業の1つに加えるため実施しており、予定通り進捗した。	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		
	今後の予測	化学物質に関する情報提供など、今後は環境情報館事業として、区民ニーズに合わせて実施していく(当該事業としては平成16年度で終了)。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由： 区民は、インターネットなどで必要な情報を得ることができるため、必要性は薄らいでいる。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容： 環境情報館事業として総合的に検討。 理由または具体的内容： 環境情報館事業として総合的に検討。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容： 環境情報館事業として総合的に検討。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容： 環境情報館事業として総合的に検討。	
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	理由： 環境情報館事業として総合的に検討。 理由または具体的内容： 環境情報館事業として総合的に検討。	
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
		今後の具体的な取り組み 環境情報館事業として総合的に検討。	

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 環境情報館事業として総合的に検討。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 環境情報館事業として総合的に検討。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境審議会運営				整理番号	670		枝番号			
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	691	
係名 庶務係				上位施策名				No				
予算事業名 環境審議会運営				コード 65300		環境施策の枠組みづくり				16		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 環境基本法第44条 (2) 杉並区環境清掃審議会条例 (3) 杉並区環境清掃審議会条例施行規則							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 環境基本法(平成5年法律第99号)第44条の規定に基づく区長の付属機関として、区の環境保全並びに廃棄物の適正な処理及び再利用の促進に関して必要な事項を調査審議する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区の環境清掃行政に関し、区民等の意向を区政に反映させる。							
	活動指標名(式) (1) 環境清掃審議会の開催回数 (2) 審議・報告案件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 委員の出席率 (2)							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		回数	7	5	6	6	6				
	活動指標(2)		件	60	57	40	36	40				
	成果指標(1)		%	85	89	100	90	100				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,290	1,167	2,674	1,823	3,562	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年7月に環境審議会及び清掃審議会を統合し、環境清掃審議会として新たに発足した。			
	(内)委託費		千円	437	375	648	369	765				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.90	0.90	0.90	1.38	1.38				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,175	8,095	8,190	12,558	12,558				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	10,465	9,262	10,864	14,381	16,120				
	単位あたりコスト ÷		円	1,495,000	1,852,400	1,810,667	2,396,833	2,686,667				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	10,465	9,262	10,864	14,381	16,120					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	90.0	16年度予算執行率%	68.2	年度当初、専門的な問題に対する部会設置(2部会×3回)を予定していたが、特に諮問する重要事項等がなく部会が設置されなかったため残額が出た。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		従来あった環境審議会及び清掃審議会を発展的に統合し、環境清掃審議会を設置した。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成8年に策定した「環境基本計画」を平成15年に改定し、環境先進都市を目指したさまざまな課題への取り組みを推進した。「環境基本計画」を改定した際には、審議会に部会を設置し、環境基本計画のあり方についての答申を出すなど、改定に重要な役割を果たした。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近年、区民の意見・要望・苦情は、迷惑行為の防止や近隣公害の解決、環境美化の推進に関するものが多くなってきている。一方、大気汚染対策や地球温暖化防止、リサイクルに関する施策など、区に先導的役割を期待した意見等もある。21世紀を迎え、区民の環境清掃問題に関する関心はますます高まりを見せている。
	今後の予測	温暖化対策などに関する施策を実施する場合には、区民の協力を得なければ実施できないものなどが予想される。これらを解決するに際し、審議会の意見は区政にとってさらに大きな意味を持つこととなる。また、新たな施策についての検討や環境基本計画の進捗状況を検証する機関としての役割が重要となる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の環境清掃に関する施策を進める上で、重要な課題を審議している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 告案件を調整し、重要な審議事項については、十分な時間(開催回数)を設け議論する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の意図は、区全体の環境保全や快適環境の維持を目的としているものであり、特定の個人や団体に受益が偏るものではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 環境清掃行政に係る合議制の機関として、区内の環境清掃関係団体及び個人の方々に委員を構成する。各種環境団体等からの推薦を受け、委員を委嘱している。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区の環境清掃行政を進める上で重要な課題を諮問し、調査審議を行って、多方面からの意見を区政運営に反映させていく。また、審議会運営を活気あるものとするため、改選時には随時委員の構成についての見直しを行っていくとともに、環境基本計画及び一般廃棄物処理基本計画を実効性のあるものとするための検討を行う。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現在のところ、審議会の開催回数については17年度と同様であるが、専門的な問題が諮問され専門部会を設置した場合には、部会開催についての予算が必要となる。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境マップ				整理番号	689		枝番号			
担当部課名		環境清掃部 環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3715		昨年度整理番号	709	
係名 庶務係(環境都市推進担当)					上位施策名					No		
予算事業名 環境配慮行動の拡充					コード	65760		環境施策の枠組みづくり			16	
事務事業の概要	事業開始年度 ○昭和 ●平成 15年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区環境基本計画							
	全ての区民及び国民				(2)							
					(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 紙ベースで蓄積していた区の環境情報である有害化学物質と動植物生息状況などの情報を電子データ化し、インターネットで広く区民および国民に提供する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民が環境情報を容易に取得できるようになり、区民自らが取り組む環境配慮活動の一助となる。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 目次項目数				(1) アクセス数(代)								
(2)				(2)								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		個	17	17	17	17					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		回			20,000	17,632	20,000				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,187	200	0	300	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	5,187	200	0	300					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.10	0.10	0.00	0.10					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	899	910	0			910		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++		千円	0	6,086	1,110	0			1,210		
	単位あたりコスト ÷		円		358,000	65,294	0			71,176		
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	0	6,086	1,110	0	1,210					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0		0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	0.0					
		16年度は、すぎなみ環境情報館のホームページを立ち上げた。										
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	16年4月から多数の方のアクセスを受けている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	16年4月から多数の方のアクセスを受けている。
	今後の予測	16年度末に立ち上げたすぎなみ環境情報館のホームページと同一窓に配置したので、それぞれの相乗効果によりアクセスが増加し、区民には必要な情報を手軽に入手できるようになる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 環境情報を広く提供する手段として有効。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 提供データの項目の追加等を検討し、より充実した環境マップとしたい。 理由または具体的内容: 提供データの項目の追加等を検討し、より充実した環境マップとしたい。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区公式ホームページによる情報提供なので受益者負担はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: データ修正等メンテナンス経費のみの計上となっている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 専門業者によるメンテナンスを取り入れながら、行政による運営を行なう。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 専門業者によるメンテナンス取り入れながら行政による運営を行なう。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 追加データ項目の検討などより内容を充実させた環境マップとしたい。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 データ更新、追加データの検討など、より内容を充実させた環境マップとしたい。